

くろつち便り

今月の内容

作品展(11/1~5)／金曜集会(11/1)
学習会・忘年会(12/1)／野草折々-31-
原発問題・小出裕章講演(10/19)
ハンセン病問題啓発講演会、映画(10/19)
鹿屋に米軍はいらない鹿児島県民集会(11/30)



↑会報QRコード

私たちが原発を廃止しなければ原発が私たちを廃止する — 小出裕章さんの講演から 松下徳二

10月19日、小出さんの講演はパソコンで少し見ていたので、大きな期待をもって、鹿児島島での夜の講演会に友人と妻と3人で参加しました。開始前に会場は満員。小出さんの人気のほどがわかりました。

開始と同時に前の広いスクリーンに 原子力発電は古めかしい蒸気機関 と映し出されました。原発も火力発電も理屈は同じ、どちらも熱して蒸気を作り、その蒸発力でタービンを回し電気を作る。なるほどだなあと納得していると、原発の非効率性、排水の熱のこと、東電の爆発のこと、今も防げていない放射能のこと、特に子供をどう守るかなど次々に文字と図でよどみない自信に満ちた説明が続きました。最近の講演は図示が多くてわかりやすい。

小出さんの講演は原発賛成派に抗してなされることが多いはず。だからこそ誰にもわかりや

すい、本質を抉り出す的確な統計や資料が必要なのだらうと思いました。

300万KWの電熱を得てもそのうち200万KWは海に捨てるために「原子力発電所」は「海温め装置」となる。川内原発は毎秒70トンの海水を引き込みその温度を7度Cあげて海に戻す。川内川の平均流量は毎秒80トン。海水温度は上がる。魚への影響、それを食べる人間のことを思わずにはいられませんでした。

川内原発はもう35年経過。20年延長をもうくろんでいるが、老朽化した原発は少しの地震、火山爆発にも影響されるはず、危険極まりない。延長はもちろんのこと、3号機増設も絶対阻止すべきだと強く思いながら帰途につきました。



満員の県教育会館

映画「ふたたび」 swing me again

10月19日の朝刊に、ハンセン病家族訴訟の原告に最高180万円の記事が載っていた。たまたまこの日、リナシティーで「鹿屋市ハンセン病問題啓発講演会」があり、後の映画が一番楽しみだった。

識見が浅く、その時には気づかないこともよくある。この日の会についてもそうだった。

有意義な会には違いなかったが、帰ってからふと考えた。

あれっ？裁判では行政の責任も問うていたのに、行政の責任ある人の挨拶はなかったな。他用で出席できなかったということだったが、それならそれで、それなりのメッセー

ジがあっても良さそうなものだが、どうも記憶にない。「これから、このようにしていきます」と高らかに宣言してしかるべきではないか・・・

敬愛園自治会長の岩川洋一郎さんは、ご自分のつらい経験を踏まえながらの話で「今回の判決は画期的だ。これからはハンセン病問題にとって大事な運動が始まる」と話し、最後に「しかし自分らはもう時間がない。これからの生活、生きてきてよかったという生涯を送りたい」と強調された。

映画「ふたたび」では、元ハンセン病患者貴島健一郎（財津一郎）が、出会ったばかりの孫（鈴木亮平）と一緒に、昔のジャ

ズ奏者仲間（犬塚弘、佐川満男、藤村俊二）を訪ねて回る。その中で、結婚問題をはじめとする様々なハンセン病問題を描きながら、家族や昔の仲間との絆をも描いていた。

特に「時間を取り戻すことは、絆を取り戻すことだ」というセリフが印象に残った。

映画の中では小旅行の末、50年ぐらゐ前の夢（ステージでの演奏）を果たし、時間を取り戻す。しかし元患者の中には、逆に、時間＝絆を取り戻せなかった方々も随分いたんだろうな、ということも考えてしまった。（文責 樋園）



お知らせ

◇ 11月30日 14時～16時
「鹿屋に米軍はいらない鹿児島県民集会」
場所 鹿屋市 町中パーク(リナシティー前)

KC130訓練に反対して、県内外から集結
◇ 12月1日 くろつち会学習会・忘年会
◇ 12月6日 金曜集会 17時
◇ 12月8日 共助会 菓子作り



初日オープン直後の会場

大好評の第8回作品展 えっほんと？ 208人/日？

第8回を迎えた作品展、今年も大好評でした。見に来てくださった方々の感想から代表的なものをいくつか紹介します。

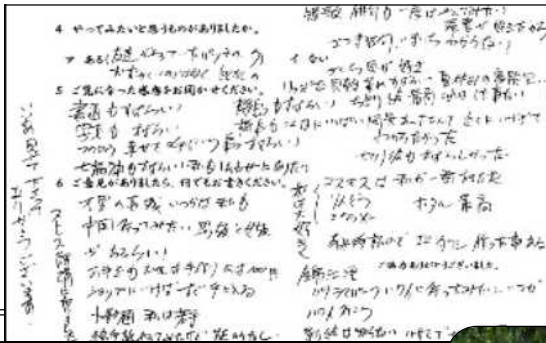
（たまたまだいわに来たという10代）「写真はよく手芸物などがたくさん展示さここで拝見しますが、俳句やれていて、見ていてとても楽しくなるものばかりでした。」

（たまたまだいわに来たという30代）「かなりクオリティ高くびっくりした。芸術にふれ満足した。」

（写真、竹工芸をやってみたという30代）「いろいろな作品があることを知り、挑戦したい気持ちが出てきました。一つ一つ個性と心がこもった作品でステキでした。」

（正月用のブリザードをやってみたという60代）（山野草）興味深くていねいに見ました。」

（↓）下のよう、中には、用



紙にぎっしりと書き込んでくださった方もおられました。

こんな人も！

「6年の時担任であった山口先生の作品を見て、なつかしく思い、元気でおられる事がうれしく思いました」という感想は、60代の女性でした。

5日は、午前中まででした。

5日間で何人の見学者がいたか気になります。記録簿によると何と、936人だということです。最終日は半日でしたので、4.5日間ということです。1日当たりを計算すると

$936 \div 4.5 = 208 \text{人/日}$
ということになります。何とすごい人数です。

記念DVDを役員会までにと
と思ったけど、ちょっと無理
12月1日の学習会・忘年会には、
出品者にお渡しできるはず
です。会に不参加の方へは、来
年になるかも知れません。

反戦平和の運動

11/1 金曜集会で反安倍を訴える



10/29日はKC130の飛行訓練があるというので、野里に向かったが、中止。このまま訓練がなければいいのだが、そのうちまたあるんだろうな。（写真 右→）

一方 11/1日は、金曜集会の日。冬場は、17時から。

リナシティ前の道路で、反安倍を訴えた。「改憲を許さない」と声を張り上げると、



KC130訓練に反対して野里に集結

車中の子連れの母親で、頷いた方もおられたのが印象に残った。
次回は12月6日、17時。



シコクママコナの花御岳→

野草折々-31-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

シコクママコナ
(ゴマノハグサ科)

四国・九州の深山に稀にみられる。若い種子が米粒に似ているため「飯子(ママコ)の名がある。

2014年9月14日高隈山御岳で撮影